

日本ES開発協会が定例会 中澤四国管財社長が講演

日本ES開発協会（矢萩大輔会長）は、このほど浅草公会堂で四国管財の中澤清一社長を講師に招き、第2回夏の定例会を開いた（写真）。

第一部は、同協会の矢萩会長が「経営のプロフェッショナルに学ぶ『ES実践術』をテーマ」に講演。社員第一主義、従業員満足を表

すESの重要性と、人間性尊重経営を実現する5つのアクションプランを紹介した。

第二部は、高知県でビルメンテナンソ会社を経営する中澤社長が、自ら取り組んだ組織改革の成功例や失敗例を紹介し、「最終的に経営品質に取り組むことが、従業員にも客先にも、会社にとっても

良い方向になったと語り、自社独自のES（従業員満足）について講演した。

第三部ではESコンサルタントの金野美香氏をコーディーネーターに迎え、四国管財のES

向上の取り組みについて、パネルディスカッション形式で紹介した。

同協会は、企業の経営資源の一つである従業員が自社の仕事に誇りをもち志高くやる気をもって取り組む状態（ES（従業員満足））の高い状態を創り出すことで好業績を導くための情報共有の場を提供している団体。

